

平成17年度第15回評議会議事録

日時：平成18年1月10日（火） 17：06～21：18

場所：J P F。ただし、Ⅲ．議事のうち1．の審議（これらの審議にあたって予め申請団体の説明を受ける場合を除く。）にあたって、評議員（NGOユニット枠を除く）、アドバイザー及び事務局員以外はJ P Fから退出した。また、Ⅲ．議事のうち2．の協議にあたって、評議員（NGOユニット枠を含む）、アドバイザー及び事務局員以外はJ P Fから退出した。

出席：評議員

外務省 : 城守 茂美（上村司評議員代理）
経団連 : 林 寛爾
三菱財団 : 石崎 登
学識経験者 : 中村 安秀
A A R : 堀江 良彰（NGOユニット枠）
P W J : 山本 理夏（NGOユニット枠）

評議会アドバイザー

前評議会議長 : 長 有紀江
社会貢献担当者懇談会 : 森 信之
日本経済新聞社 : 原田 勝広（Ⅲ．議事のうち1.③の申請団体の説明より出席）

評議会ゲスト

外務省 : 高根
W F P : 伊藤
学生ネットワーク : 石川(光)、石川(晴)、小宮
J A F S : 川端、藤原
J C C P : 茂木、大上
N I C C O : 折居、北西

オブザーバー

A A R : 坪井
A D R A : 伊丹
I P A C : 池上
J A D E : 宮崎
J R C S : 浅沼
S C J : 棚田、鈴木、日向野
J M A S : 奈良
メドゥサン・デュ・モンド・ジャポン : プリュン・エフテル

事務局 : 出原、吉田、寺垣、谷口、細井、田口

座長 : 堀江 良彰

I. 定足数確認

評議員定数6名のうち、出席評議員数6名をもって定足数を確認した。

II. 配布資料確認

1. 事務局：第15回JPF評議会次第
2. 事務局：議案1. パキスタン地震被災者支援プロジェクト（第1期）にかかる事業計画の承認
3. JAFS：キャンプ・ジャパン運営支援及び機動支援活動事業計画書
4. JCCP：キャンプ・ジャパン入居者によるモバイル・サービス事業計画書
5. NICCO：パキスタン・キャンプ・ジャパンにおけるサービスデリバリー事業計画書
6. PWJ：パキスタン・ムザファラバード市におけるキャンプジャパン自治補完業務2計画書
7. 事務局：キャンプ・ジャパン進捗状況
8. 事務局：「キャンプ・ジャパン」関係記事（12月21日～）
9. 学生ネットワーク：blau vol.002
10. 事務局：常任委員会運営に関する内規 Term Sheet (DRAFT)

III. 議事

1. パキスタン地震被災者支援プロジェクト（第1期）にかかる事業計画の承認について

- ① JAFS：キャンプ・ジャパン運営支援及び機動支援活動事業（政府資金）
申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされた。その後、評議員、アドバイザー及び事務局員のみで審議した結果、全会一致で承認した。
- ② JCCP：キャンプ・ジャパン入居者によるモバイル・サービス事業（政府資金）
申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされた。その後、評議員、アドバイザー及び事務局員のみで審議した結果、全会一致で承認した。
- ③ NICCO：パキスタン・キャンプ・ジャパンにおけるサービスデリバリー事業（政府資金）
申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされた。その後、評議員、アドバイザー及び事務局員のみで審議した結果、JPF年間助成額は当該団体の前年度全海外事業費の100%以内（資金助成資格：フォーマル）と定めた資金助成ガイドラインに則り、上限を超えない助成額とすることを全会一致で承認した。
- ④ PWJ：パキスタン・ムザファラバード市におけるキャンプジャパン自治補完業務2（政府資金）

申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされた。その後、評議員、アドバイザー及び事務局員のみで審議した結果、全会一致で承認した。また、複数の評議員よりキャンプ・ジャパンにおける今後の政府資金の利用についての確認が行われたところ、事務局より事業計画等について若干の変更の可能性はあるが、主たるキャンプサービス部分での政府資金の利用はこれで終了する見込みとの説明があった。

なお、中村評議員より下記の附言がなされた。

- (ア) 助成額上限の設定について、NGOユニットが現行規定を見直す際には、例外事項を規定するなど評議会判断で一定限度の対処が可能な裁量を検討して欲しい旨の附言がなされた。
- (イ) 各NGO現地駐在員のメンタルも含めた体調のケアについて、内規等を事務局が策定するよう附言がなされた。

また、PWJ山本氏より外務省が査定した固定資産について、民間資金等で購入させてほしい旨の検討依頼があった。

2. ガバナンス改革について

ガバナンス改革後の新JPF理事会の構成及び内規等について協議を行った。

3. キャンプ・ジャパン対応について

事務局より配布資料と映写資料に基づき、キャンプ・ジャパンの進捗状況と方向性整理の報告がなされた。また、事務局より配布資料に基づき、メディア報道についての報告がなされた。

4. 学生ネットワークによる活動の報告について

JPF学生ネットワークより、フリー・ペーパー第2号を発行した旨の報告と、次回評議会後に開催する新年会参加の呼びかけがなされた。

5. 次回評議会の開催日時・会場について

平成18年1月30日（月）17：00よりJPF事務局において開催することとした。

以上